2018年度SIPS

第3回金流商流情報連携タスクフォース議事録(案)

国連CEFACT日本委員会

一般社団法人ｻﾌﾟﾗｲﾁｪｰﾝ情報基盤研究会

1. 開催日時　：　2018年12月4日（火） 14：00～17：00

２．開催場所　：　機械振興会館　6階　6-62会議室

３．出 席 者　： （順不同・敬称略）

　 　 特別会員 菊川　正博 一般財団法人日本貿易関係手続簡易化協会

幹事会員 遠城　秀和 ＮＴＴデータシステム技術株式会社

幹事会員 兼子　邦彦 小島プレス工業株式会社

幹事会員 斉藤　孝平 株式会社ＮＴＴデータ

幹事会員 菅　一樹 株式会社ＮＴＴデータ

幹事会員　　 井原　栄一　 　 株式会社グローバルワイズ

幹事会員　　　 香坂　真人 株式会社JSOL

幹事会員　　　 梶原　俊博 日本情報通信株式会社

正会員　　　　 川路　義孝　　　有限会社スクラッチソフト

正会員　　　　 谷川　伸司　　　キヤノンITソリューションズ株式会社

正会員　　　　 加藤　重雄　　　パティオシステムズ株式会社

正会員　　　　 猪股　洋二　　　パティオシステムズ株式会社

正会員　　　　 坂本　恒之　　　株式会社スマイルワークス

正会員　　　　 坂頂　佑樹　　　株式会社スマイルワークス

賛助会員　　　 川内　晟宏　　　特定非営利活動法人ITコーディネータ協会

賛助会員　　　 坂本　真人　　　一般財団法人流通システム開発センター

賛助会員　　　 浅田　寿人　　　一般社団法人全国銀行協会

事 務 局 菅又　久直 一般社団法人ｻﾌﾟﾗｲﾁｪｰﾝ情報基盤研究会

出席者18名

４．議事概要

2018年度第3回金流商流情報連携タスクフォースは、遠城リーダーの進行にて以下の議事を実施した。

（資料：金流商流情報2018-3-01　第3回金流商流情報連携TF議事次第）

４－１．第2回金流商流情報連携タスクフォース議事録確認

（資料：金流商流2018-3-02　第2回金流商流情報連携TF議事録（案））

　事務局菅又より前回議事録の概要説明があった。特に意見等はなく承認された。

４－２．軽減税率／インボイス対応

（資料：金流商流2018-3-03　業界横断EDI参照メッセージ（請求））

（資料：金流商流2018-3-04　業界横断EDI参照メッセージ（支払通知））

（資料：金流商流2018-3-05　軽減税率／インボイス対応コメント）

　事務局菅又より、資料に基づき川内委員及び遠城リーダーのコメントを中心に審議が行われ、業界横断EDI：支払通知メッセージに次の情報項目を追加することが合意された。

CIRH\_ Trade Settlement\_ Monetary Summation. Net\_ Line Total. Amount

CIRT\_ Trade Settlement\_ Monetary Summation. Net\_ Line Total. Amount

CIRL\_ Trade Settlement\_ Monetary Summation. Net\_ Line Total. Amount

CI\_ Trade\_ Tax. Category Name. Text

【質疑・意見】

Q1：インボイスとして扱える文書

⇒請求書以外に納品書や買掛明細もインボイスとして扱えることが国税庁のQ&Aにでている。（注釈：国税庁Q&A 問44および問60）。

Q2：関連する出荷案内／納品書および見積／発注／受注のメッセージにも軽減税率／インボイス対応のBBIEについて

⇒次回の国際／業界横断EDIタスクフォースでまとめて検討する。

Q3：CI\_ Trade\_ Tax. Category Name. Textのデータ記述方法

=>旧税制の対応について、当面「税制2018」のような記述にしてはどうか。

=>旧税率適用の場合、帳票には「＊」のフラッグを記載することが規則になっている。

=>流通では、税区分／税率／処理日で税制を含めて判定するようシンプル化している。

=>税理士会との意見交換でも話題にしたい。

=>国税に問い合わせることも必要。

４－３．MIMEヘッダーのサブタイプ登録

（資料：金流商流2018-3-06　MIMEヘッダーのサブタイプ登録）

（資料：金流商流2018-3-参考（１）Application for a Media Type）

（資料：金流商流2018-3-参考（２）Media Types）

　遠城リーダーより資料に従い全銀EDIで使用する商流情報の格納方法につき説明が行われ、商流情報がXMLか平文かにかかわらずMIMEヘッダーの採用が必要であることが合意された。

　また、当該MIMEヘッダーのContent-Type: applicationのサブタイプにvnd.ciediを追加申請し（IANAにSIPSより申請）、業界横断EDI仕様の商流情報（XML）ではvnd.ciedi+xmlの形式指定で使用することとする。

【質疑・意見】

Q1：業界区分の指定

⇒「業界区分」はContent-Typeのformat（パラメータ）で指定する。

例：Content-Type: application/vnd.ciedi+xml;format=JPSFEDI01

=>「業界区分」用パラメータは、汎用性（国際化）を意識し、頭2文字を「JP」とし3文字目で業界区分IDを附番する機関を指定することが提案された（未合意）。

　　　　　例１：JPmXXXXnn

JP：日本

m：S (SIPS)、Z(ZEDI)

XXXX：附番された業界区分ID

nn：バージョン

=>Content-Typeの指定方法については、「ISO20022メッセージ導入ガイド」にも記載すべきとの指摘があった。

４－４．SCCCおよびリアルタイム原価計算について

　　（資料：金流商流2018-3-07　SCCC／リアルタイム原価計算）

　　（資料（席上配布）：原価計算基準）

　兼子委員から資料に基づき、「CCC → SCCCへの経緯」および「丸和電子化学の考えるIoTデータの原価活用」についての説明があった。

【説明主旨】

* 「日本再興戦略2016」で、CCCの重要性が謳われた。
* CCCだけを見ると債務回転日数（支払サイト）を伸ばせば数値が向上することになり、健全な現金化サイクルとは言えず、サプライチェーン全体の資金回転を見るための指標SCCCが提唱されている。
* 中企庁の2018年度決済情報管理支援事業でも、金融EDIの導入によるSCCC改善効果を評価するよう期待されている。
* 丸和電子化学では、注文に応じた究極の1個づくりを目指し、工場の業務フロー全てについてのIoTを含むデータ収集に挑戦している。さらに、人の稼働状況や間接費の把握方法などについて研究中であり、リアルタイム原価計算可能な状況に近づきつつある。

【質疑・意見】

Q1：金融EDI活用の効果

⇒今のところ、金融EDI導入メリットが消込作業の削減しか注目されていないので、SCCC導入の取り組みに大いに期待したい。

５．次回のタスクフォース開催日程

　次回のタスクフォース開催日程を決めた。

◆第4回金流商流情報連携タスクフォース

　　期日：2019年2月19日（火）14時‐17時

　　場所：機械振興会館　6階6-62会議室

以上

配布資料一覧：

金流商流2018-3-01　第3回金流商流情報連携TF議事次第

金流商流2018-3-02　第2回金流商流情報連携TF議事録（案）

金流商流2018-3-03　業界横断EDI参照メッセージ（請求）

金流商流2018-3-04　業界横断EDI参照メッセージ（支払通知）

金流商流2018-3-05　軽減税率／インボイス対応コメント

金流商流2018-3-06　MIMEヘッダーのサブタイプ登録

金流商流2018-3-07　SCCC／リアルタイム原価計算

金流商流2018-3-参考（１）IANA – Application Media Type

金流商流2018-3-参考（２）Media Types

席上配布：原価計算基準